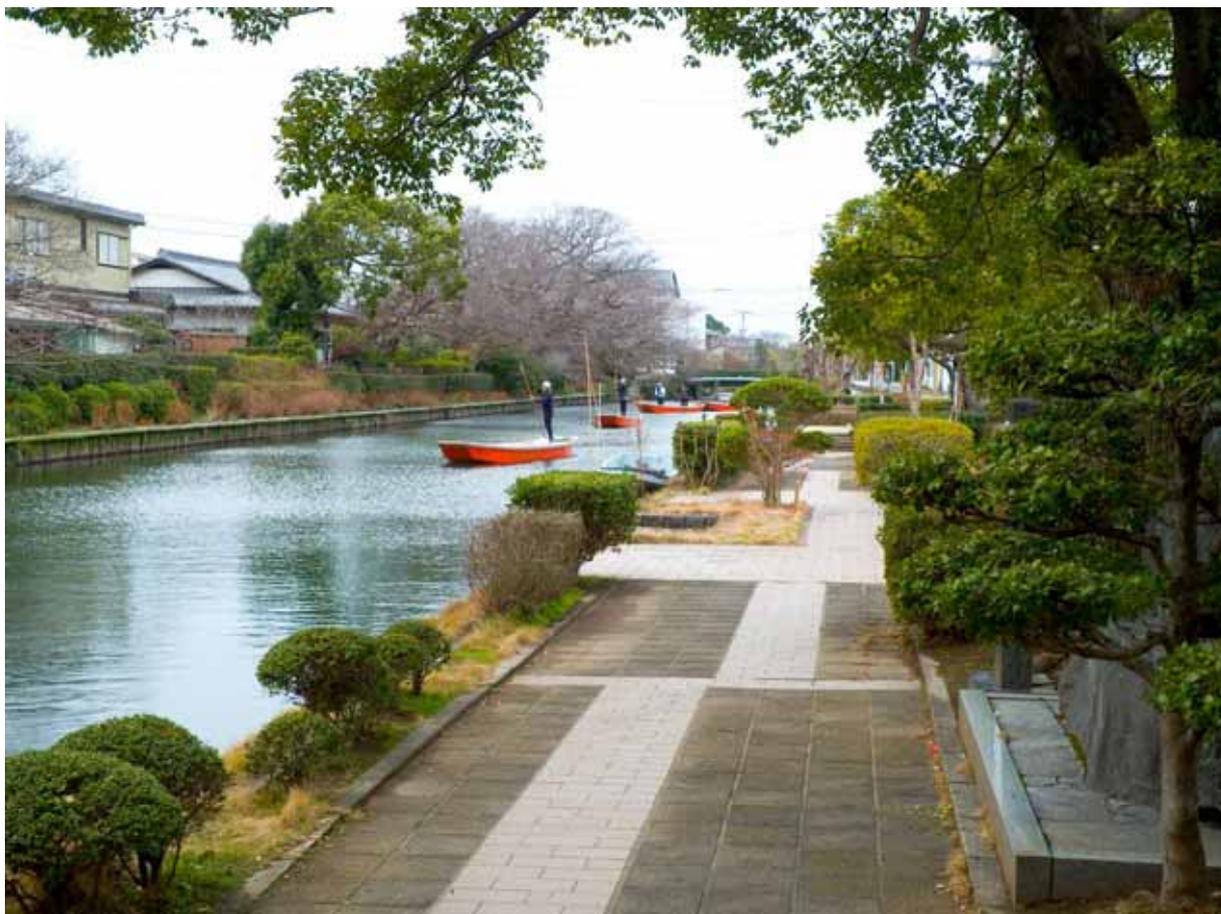


## 第2章 柳川市の目指す環境像

1. 柳川市の目指す環境像
2. 計画の体系



水辺の散歩道

## 1. 柳川市の目指す環境像

本計画では、市民・事業者・教員の方々のアンケートからいただいた環境像に関する自由意見を踏まえ、柳川市の目指す環境像を次のとおりとします。

水がきれい まちがきれい 緑あふれる水郷のまち 柳川

この環境像は、「第1次柳川市総合計画」で掲げられているまちの将来像である「生きがいと活力に満ち自然と共生する住みよいまち」の「自然と共生する」を環境像として誰もがイメージできるわかりやすい言葉にしたうえで、アンケート調査における将来の環境に関する意見で多く用いられた言葉の「自然豊かな水郷のまちにしたい」という市民の思いを込めました。

### 【第1次柳川市総合計画：まちの将来像】

生きがいと活力に満ち自然と共生する住みよいまち

「生きがいと活力に満ち」

心の豊かさが、市民一人ひとりに生きがいをもたらし、地域の活力の源になることを目指します。

「自然と共生する住みよいまち」

生活の潤いと活力が、海、河川、水路（掘割）、田園といった自然の共生を通して、このまちに“住んでよかった”という気持ちにつながるような、そんな個性と魅力あるまちづくりを進めます。

### 【アンケート調査：将来の環境について】

《回答中多く用いられている言葉》

川 掘割 水路 クリーク 有明海 干潟 田園風景 水環境 共存 共生  
きれい 美しい 緑あふれる 住みやすい 静か やさしい ほっとする  
癒される 潤いのある 「水郷柳川」らしく 観光客に喜ばれる  
観光地として誇れる 掘割にホタル 川遊び

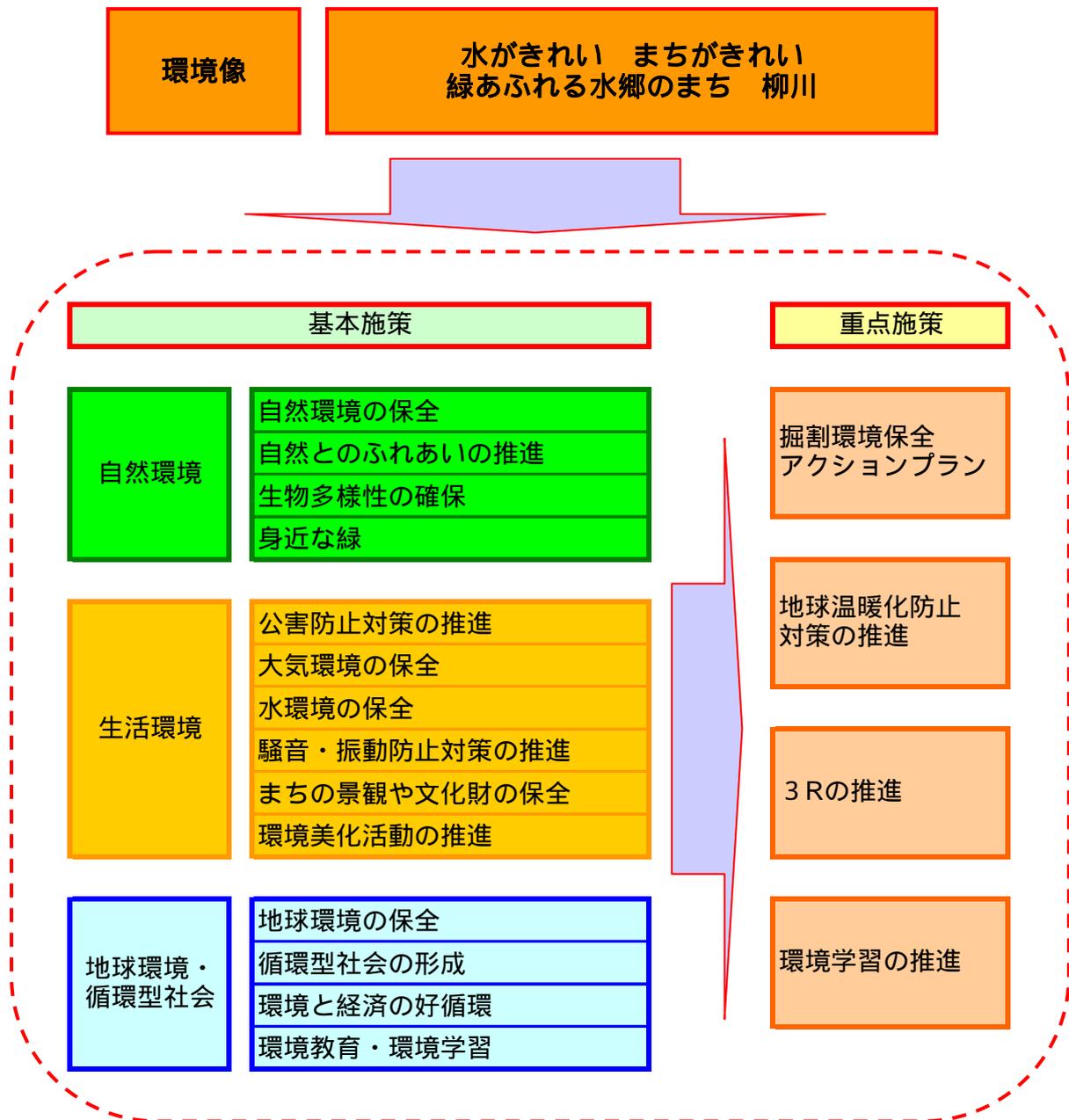
《回答例》

「空気、川などが澄みきって、子どもも大人も住みやすいまちになって欲しいと思います。」

「観光客にも喜びと感動をしていただくような水郷の自然の美しさが保たれればよいと思います。」

## 2. 計画の体系

本計画では、本市の目指す環境像を実現するため、自然環境、生活環境、地球環境・循環型社会の3つの柱を基本施策として定め、さらに「基本施策」に掲げた事項のうち、重要な課題に関する事項や早急に対応する必要がある事項については、「重点施策」として位置付け、より具体的な施策の展開を図ります。



### みんなの声（アンケート調査における柳川市の環境像意見）

掘割がきれいになり、たくさんの人に喜んでもらえるまちになれば良いと思います。

緑の多いまちにしたい。観光客がもう一度訪れたいと思うまちを望む。

自然にやさしい、美しいまちになればと願っています。観光客の方々に「柳川って何かしら心癒されてほっとするまちね。」と言われるように。

「水郷の柳川」というくらいですから、将来、もっともっと、水のきれいな、まちのきれいな柳川になればと思います。

有明海にも川にも魚がいっぱい住んでいる、緑や花がたくさんある、空気がきれい、お年寄りにもやさしい環境。

水のまちと呼ぶにふさわしいように、川の水がきれいになれば、もっと誇らしいまちになると思います。

きれいな水や緑があふれた柳川市になって欲しい。

掘割や川を中心にきれいにしていき、自分たちの地元を自慢できるような柳川市にしていけたらと思う。

水質の向上、市民の意識の向上が進めば、将来ほたるが住めるようになると思います。それに伴い、観光客の増加が見込まれ、誇れる柳川市になると思います。

掘割やクリークなど、子どもたちの身近な川がきれいになり、様々な生きものに触れることができる環境になればよい。

水に囲まれた柳川なので、水辺をきれいにしたいです。ホタルが飛ぶようなきれいな水が流れる川や掘割…。

“水郷”の名にふさわしい水環境の整備をし、住民が掘割や川、有明海に親しみ、大切にしていけると良いと思います。